

# VF21B(S) 簡易取扱説明書

本紙は弊社消防ポンプ「VF21B(S)」をお使いいただくための簡易的な取扱説明書です。  
 本機に附属する取扱説明書を使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。  
 特に「使用上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

始動・運転手順		操作部位 風船番号
1	吐出口ドレンバルブ、ポンプドレンバルブ、排水用空気バルブ、放水バルブハンドルを閉じる。	①、②、③、④
2	フュエルバルブを開く。 ※始動性が悪い場合、またはリザーブタンク内の燃料がなくなっていた場合、プライマバルブが固くなるまで握りを繰り返し、燃料を送りこむ。	⑤、⑥
3	始動ノブを引く。	⑦
4	スロットルレバーを「吸水・始動」の位置に合わせ、メインスイッチを「始動」の位置まで回しエンジンを始動する。バッテリーが無い場合はリコイルスタータ（手動）にてエンジンを始動する。	⑧、⑨、⑩
5	エンジン始動後、吸水レバーを引き上げ、吸水する。	⑪
6	真空ポンプドレンパイプから連続的に水が出るのを確認（本体圧ゲージが正圧力側に作動）してから吸水レバーを速やかに元に戻す。	⑪、⑬、⑬
7	放水バルブハンドルをゆっくり開き、全開にする。	④
8	正常な放水状態であることを確認し、本体圧ゲージを見ながら必要圧力までスロットルレバーで調整する。	⑧、⑬

停止・終了手順		操作部位 風船番号
1	スロットルレバーを低圧側に回し戻す。	⑧
2	放水バルブハンドルを閉じる。	④
3	メインスイッチを「停止」の位置にする。 (バッテリーがない場合は、ストップスイッチをエンジンが完全に停止するまで押し続ける。)	⑨
4	フュエルバルブを閉じる。	⑤
5	吐出口ドレンバルブ、ポンプドレンバルブ、排水用空気バルブを「開」にして完全に排水し、吸水口キャップを取り外す。	①、②、③、⑭
6	エンジン始動後、吸水レバーを引き、真空ポンプを約10秒間作動させる。	⑪
7	全てのバルブを「閉」にし、吸水口キャップを取り付ける。	①、②、③、⑭
8	吸水レバーを引き上げ、真空ポンプを約30秒間作動させて真空形成後、真空漏れ確認を行う。	⑪、⑬
9	確認後、メインスイッチを「停止」の位置にする。	⑨
10	全てのバルブを「開」にして真空を抜き（大気開放）、再び全てのバルブを「閉」にする。	①、②、③
11	運転使用後は、フュエルドレンバルブを引いてキャブレタ内の燃料を完全に抜く。 ※本ポンプはダイレクトキャブドレン方式を採用しており、ドレンした燃料は直接フュエルタンクに戻ります。	⑮

